

# 進路指導部通信

県立高等特別支援学校  
進路指導部  
2016.3.3 NO.17



3年生のみなさん、卒業おめでとうございます。3年前の春は期待と不安でいっぱいだったことでしょうか。この3年間を振り返ると、あっという間と感じたのではないのでしょうか。無事に内定

実習を終えて入社を迎える人、もう少し就職に向けて頑張る人がいます。進もうとする進路は様々ではありますが、新しいスタートを切ろうとしています。新しいスタートに期待や不安があることでしょうか。水戸黄門の歌には「人生楽ありゃ、苦もあるさ」とありますし、「山あり谷あり」という言葉もあります。楽しいこと、悩むこと、これからいろいろなことが待ち構えていることと思います。新しいスタートは緊張の連続で、慣れるまでには時間がかかります。しかし、慣れてきた時が肝心です。働くということは慣れてきたという安心感からの気の緩みでミスや事故を引き起こします。また、中には運転免許を取得した生徒もいます。本当に車の免許が必要かはしっかり考えてください。車を管理するにはみなさんが思っているよりも費用がかかります。保険料にガソリン代、駐車場代など……。車を運転できるようになると、行動範囲が広がり、生活を便利にしますが、慣れてくると違反や事故を招くこともあります。運転するということは自分の命だけではなく、人の命も守らねばなりません。社会に出るということは様々な場面で責任を持たなくてはなりません。責任というと緊張し続けなければならないと感じますが、決してそうではありません。「仕事のONとOFFを使い分ける」「生活にメリハリをつける」と言われるように、公私区別をつけることが大切です。働くためには心も身体も健康でなくてはなりません。しんどくなった時に相談するとか、ストレスが溜まった時に発散できる術があるとか、仕事以外に打ち込める趣味があるとかは、リフ

レッシュして生活を充実させる手立てのひとつです。また、しんどくなった時に相談できる場をみつけておきましょう。そのひとつとして、地域の支援のネットワークと繋がってほしいと思います。仕事のつまずきや生活面でのサポートを支援して下さる「就労・生活支援センター」が各地域にあります。サポートを受けるには登録をしなくてはなりません。困った時に相談できる場を今から準備しておくことは大切なことです。支援センター側も困った時に急に来られても困ります。事前に登録をし、自分のことを知っておいてもらうことで、速やかに支援に入ってもらうことができます。新しいスタートを切ると、これからのことをゆっくりと考えることがなかなかできません。春休みを有効に活用し、各事業所への挨拶やこれからの生活についてしっかり考えておきましょう。

在校生のみなさんはまだまだ先の話とっていませんか。21期生はいよいよ進路を決める時期となります。実習の話が「いつ、きてもいいように」準備をしておきましょう。今ある課題としっかりと向き合い、努力をしてください。22期生にとっては生活面を安定させ、定着させる大切な時期となります。進路決定は3年生で行うものではありますが、2年生までで方向性が決まると言っても過言ではありません。課題は社会に出れば、社会という波にもまれて改善できると思うかもしれませんが、決してそうではありません。遅刻をする生徒は仕事に慣れてくると、遅刻をしてしまいます。素直に人の話を聞けない人は会社に慣れてくると、注意された時にふてくされた態度をとってしまいます。環境に慣れるというのは働く上では大事なことです。「慣れ」が自分に甘くなるきっかけでもあります。「慣れ」を感じた時にいかに自分に厳しく律することができるかですが、自分に厳しくというのはなかなかできないことです。だからこそ、今から意識して取り組んでいかなくてはなりません。それぞれに残された時間を有意義につかい、充実した学校生活を送ってください。頑張ってください。